

発 刊 に 当 た っ て

後志教育研修センター

所長 赤 塚 洋 昭

後志教育研修センターでは、事業の一つとして調査研究事業を推進しており、所員が研究委員会を組織して研究に取り組んでおります。昨年度まで3年次計画で進めてきた『基礎・基本を大切に学習展開と評価の工夫』の研究を終えたので、今年度は、3年次計画で新たな研究に取り組みました。

研究の目的を「今求められている『確かな学力』の向上のためには、個に応じた指導をより一層工夫したりしながら基礎・基本の確実な定着を図り、指導と一体化した評価を行っていくことはもとより、あわせて発展的な学習の場を設けて、一人一人の個性に応じて子どもの力をよりのばすことも重要である。そこで『確かな学力』の向上に向けて、創意・工夫を生かした取組をどう進めるか、よりよい評価をどう進めるかなどについて、実践的な研究を推進する。」として、研究主題を『自ら考える力を育む学習指導の工夫』とし、「目指す子どもの姿」をおさえるとともに、「研究仮説」や「研究の視点」を明確にして、研究を進めてきました。

この度、研究1年を経てその研究の経過や内容等を研究紀要として発刊することとなりました。

ところで、我が国の学校教育においては、国際的な調査結果等から読解力低下や学習意欲や学習習慣の欠如等の課題が明らかになったことから、今後、小・中・高等学校を通じ、基礎・基本をしっかりと身に付けさせるとともに、学ぶ意欲や自ら考え主体的に判断する力などの「確かな学力」を育むことが求められており、学習指導要領の改訂が行われます。

本研究が多くの教職員の指導実践に活かされることを期待するとともに、今後の研究のためにも、どうぞ忌憚のないご批評、ご助言をいただければ幸いです。

終わりにになりましたが、研究の推進にあたり、多忙の中、研究に取り組まれた研究委員の所員の方々、ご指導いただきました後志教育局の指導主事の先生方に心からお礼を申し上げます。また、発刊にあたり、ご支援、ご協力いただきました後志教育局はじめ、関係機関に厚く感謝申し上げ、発刊のあいさついたします。